

有機栽培に取り組み新たな挑戦へ！ ～有機JAS認証とASIAGAP認証を取得～

令和3年法人化
有機栽培
(水稻・露地野菜)



【経営概要】

合同会社オーガニックファームZERO

- ・代表者：宮本 恒一郎さん(62歳)
- ・所在地：宮崎県新富町
- ・設立：令和3年4月
- ・栽培品目・面積
水稻：16.5ha(うち有機栽培5ha)
露地野菜：3ha(全て有機栽培)



きっかけ

- 18歳から慣行栽培を30年ほど続けてきたが、これまでの肥料・農薬を使用する経営だけでは生き残れないのではないか。
- 食への関心が高まるなか、有機栽培した安心・安全な農産物を消費者に食べてもらいたい。

目指したのは

- 安心・安全な農産物を作り、消費者に選んでもらえる農業
- 環境に配慮した環境にやさしい農業
- 収益性の向上を図り、次の世代に引き継ぐことが出来る持続可能な農業経営

有機栽培への挑戦！

有機栽培を始めた頃は、除草作業・肥培管理・病虫害対策が大変で何度も失敗し、くじけそうになったが、

「この道を決してあきらめない」との想いで有機栽培農産物を待っていてくれる人達のために種を撒き続け

有機JAS認証取得
(2008年 水稻・露地野菜)

自信を持って農産物を消費者に届けるためには有機JAS認証に加えて、食品安全・環境保全・労働安全等の生産工程管理を実施し認証を取得する必要があると考え

ASIAGAP認証取得
(2020年 にんじん・ばれいしょ)

新たな挑戦へ！

2021年 有機栽培した米・野菜を食材にした
「有機米農家おにぎり宮本」出店

(新富町チャレンジショップを活用)

＊有機農産物を供給するだけでなく、有機農産物に関心がある消費者、新たに有機栽培に取り組む農家に有機農業の魅力を伝える情報発信基地にしたい。



今後の展望

- 2021年 台湾への有機栽培米の輸出開始
- 2017年に就農した後継者、家族と力を合わせ、ドローンを活用した農作業受託、米加工品(餅・粥)の加工・販売にも取り組み、更なる経営発展を図っていききたい。